

4

もう しょう 盲ろう障がいについて

もう しょう しかく ちょうかく りょうほう しょう じょうたい おお わ つき
 盲ろう障がいは、視覚と聴覚の両方に障がいがある状態で、大きく分けて次の4つのタイプがあります。

- ぜんもう まったく み まったく き
・全盲ろう…全く見えず、全く聞こえない
- ぜんもうなんちょう まったく み すこ き
・全盲難聴…全く見えないが、少しだけ聞こえる
- じやくし すこ み まったく き
・弱視ろう…少しだけ見えるが、全く聞こえない
- じやくしなんちょう すこ み すこ き
・弱視難聴…少しだけ見えて、少しだけ聞こえる

じ



れい ちいき なか 例9 地域の中で

わたし まったく め み みみ き ぜんもう じょうたい せんじつ ひとり
 私は全く目が見えず耳が聞こえない全盲ろうの状態にあります。先日、一人でいる
 ときに地震があり、どうしたらよいか分からずにいたところ、そっと腕を持って安全
 な場所へ誘導してくれた人がいて助かりました。

こ

はいりょ ねが んな配慮をお願いします

ぜんもう め みみ じょうほう まったく おと くらやみ なか ひとり と のこ
 全盲ろうは、目と耳からの情報が全くないため、「音のない暗闇の中に一人取り残さ
 れた」ような状態です。コミュニケーションや移動などさまざまのことについて、周囲
 からの支援が不可欠であるため、日常においては訓練を受けた支援者を同伴している
 場合が多いです。

さいがい とっぱつてき じょうきょう しえんしゃ ばあい じぶん お
 しかし、災害などの突発的な状況や支援者のいない場合には、自分が置かれている
 状況をとっさに判断し、自力で避難するといった対応をとることが困難です。また、周
 りに人がいるのかどうかが分からないこともあるため、自分から周りの人に話しかけ
 て、その場の状況を尋ねることも難しいです。

もう しゃ ひとり こま ようす しえん ひつよう じょうきょう み ばあい しゅうい ひと
 盲ろう者が一人で困っている様子や支援が必要な状況を見かけた場合、周囲の人
 はんにん あんぜん ばしょ ゆうどう しえんしゃ てきせつ はいりょ ねが
 は、本人を安全な場所に誘導したり、支援者につなぐなど適切な配慮をお願いします。

